

平成28年12月26日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	今年度も「飼料用稲WCS生産技術品質向上研修会」を開催 ～来年はぎゅ～っと（90秒）握って、水分測定～
------------	--

（ダイジェスト）

12月12日に、島根県畜産技術センターにおいて「飼料用稲WCS生産技術品質向上研修会」が開催され、多くの方の参加がありました。今年度は、稲WCS14ロールを用意し、品質や水分率の違いを比較・確認してもらいました。また、圃場で稲の水分率を簡易測定する手法「スクイーズテスト」を紹介し、次年度以降取り組んでいただくよう情報提供しました。

12月12日、畜産技術センターにおいて、JAしまね出雲 WCS 協議会（耕種農家 35 名、畜産農家 40 名、以下、協議会）の主催による「飼料用稲 WCS 生産技術品質向上研修会」（以下、研修会）が開催されました。この研修会は、JAしまね出雲地区本部と出雲事務所が協力し、稲 WCS の品質向上を目的に平成 25 年から開催しており、今年度は生産者、利用者、関係者約 50 名の参加がありました。

先ず屋外で、参加者に耕種農家 12 戸（団体）が生産した稲 WCS14 ロールの色や香り、手触りそして刈取時期・品種・収穫機械等による品質の差を比較・確認してもらい、その後、品質の良いものに投票をしてもらいました。現物を前にして、参加者同士熱心に意見交換をされる様子もうかがえました。

続いて、農業技術センターから圃場で水分含量を簡単に測れる「スクイーズテスト」の紹介があり、実際に 3 つの異なる水分率の原料草を 90 秒握って、簡易測定法を体験してもらいました。

その後、屋内に移り、JA 出雲地区本部から、管内の稲 WCS の生産状況（栽培面積；117ha、生産量；9,025 ロール）を、当普及部から、品質向上に向けた今年度の取り組み、成分分析結果および品質評価と投票の結果を報告し、次年度は「スクイーズテスト」と水分率測定を並行しながら目合わせしていくことをお願いしました。また、畜産技術センターから、良品質の WCS を作るポイントと水田を利用した試験研究について紹介がありました。

最後に記念講演として、西日本農業研究センターの高橋上級研究員から、高糖分 WCS 用稲品種を活用した微細断収穫・調製技術と広島県での取り組みを紹介して頂き、畜産農家の質問もあり、今後の稲 WCS 生産の参考になりました。

研修会を継続することにより着実に品質は向上していますが、まだまだ品質や細断長にバラつきがあることが今回の研修会でもわかりました。今後も、当普及部としては、稲 WCS が安定的に高品質で生産されることを目指し、協議会の活動支援及び技術指導等を継続することとしています。

（右写真；研修会の様子）

